

**ふくい健康の森**

所在地	丹生郡清水町真栗47-47		
設置年月日	けんこうスポーツセンター 平成7年9月開所 室内プール 平成9年11月開所 健康スポーツ公園 平成7年6月開所		
施設の種類	健康づくり、生きがいづくり施設	施設管理主体	(財)福井県健康管理協会
設置の目的	県民の健康、生きがいに関するニーズに応えるとともに、「新しい健康観の確立」「生きがいづくりの充実」の視点を重視し、子供からお年寄りまで、楽しみながらさまざまな活動を通じて、健康づくりや生きがいづくりを行うための総合的拠点		
概要 (構造、面積、主な機能)	けんこうスポーツセンター:SRC造ステンレス板2階建 延3908.37㎡ トレーニングジム、エアロビクススタジオ、運動フロア、200mトラック等 室内プール:SRC造ステンレス板平屋建 延2601.72㎡ 25mプール、流水プール、ウォータースライダー等 健康スポーツ公園 400mトラック、テニスコート、ゲートボール場、多目的運動広場等		
管理運営担当職員数	団体職員8名		

施設の特徴	緑豊かな自然の中で、県民の健康づくり・生きがいづくりの拠点施設としての役割を果たしている。
	子供から大人まで幅広い年齢層に対し、マレットゴルフ場やアスレチック遊具といった楽しみながら運動を行えるよう施設・設備を整備している。
	隣接する県民健康センターと連携を図り、健康・体力づくり教室などを開催し利用者の体力や健康状態に応じた、基礎体力の増進に寄与している。
	平成9年度の全施設供用開始以来、利用者数は順調に伸びており、15年度においては年間約20万人に利用されている。

**行政コスト計算書(平成15年度) (単位 千円)**

	総額	構成比
人にかかるコスト	人件費	32,269 3.5%
	退職給与引当金繰入	557 0.1%
	計	32,826 3.6%
物にかかるコスト	物件費	252,369 27.7%
	維持補修費	18,028 2.0%
	減価償却費	432,958 47.6%
	計	703,355 77.3%
その他	公債費利子	173,651 19.1%
	その他	426 0.0%
	計	174,077 19.1%
合計	910,258	100.0%

**バランスシート(平成16年3月31日) (単位 千円)**

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	12,508,312	固定負債	3,903,253
投資等	6,641	流動負債	1,206,011
流動資産	0	正味資産	7,405,689
計	12,514,953	計	12,514,953

平成15年度の活動実績	利用者に対するトレーニングメニューの提供、体力・運動能力テストの実施や助言等により、効果的な運動実践指導を行っている。
	県民健康センターの検査体制と連携しながら減量指導を行う減量月間事業は、平成15年度、40人の募集定員に対して160人強の申し込みがあり、大変人気の高い事業であった。
	利用者の多様なニーズに対応した体力づくり教室として、テニス教室、アクアビクス教室、水泳教室、さわやか体操教室(エアロビクス)、水中ウォーキング教室、健康・体力づくり教室ほか各種体操教室を実施し、県民の健康増進に寄与した。
	平成15年度参加人数実績 テニス教室延466人、アクアビクス教室延69人、さわやか体操教室延10,915人 水泳教室延399人、水中ウォーキング教室延4109人、 健康体力づくり教室延194人、各種体操教室延8148人
	清水町が主催する健康増進イベント「すげ笠マラソン」のコースとして健康の森敷地を利用してもらうとともに、参加者に対し施設の割引券を配布し施設のPRを図った。
	ふくい健康の森の関係者(県関係課、清水町、管理団体)をメンバーとするふくい健康の森連絡協議会を開催し、利用促進の方策を検討した。

**収入(15年度) (単位 千円)**

	総額	構成比
利用料等収入	74,539	8.2%
その他収入	1,617	0.2%
一般財源	834,102	91.6%

利用料等収入計	74,539,000 円
利用者1人あたり平均利用料	374 円
利用者1人あたりコスト	4,571 円

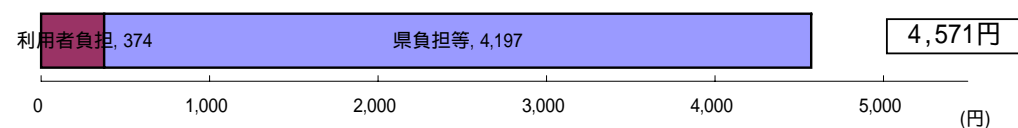
**利用状況等**

	13年度	14年度	15年度
利用者数(人)	178,715	193,896	199,129
スポーツセンター・プール	128,949	144,562	153,472
健康スポーツ公園	49,766	49,334	45,657

**利用者負担(利用料金)等**

スポーツセンターおよび温水プール	大人	600円
	中学生以下	240円
	高齢者	480円

**利用者1人あたりのコストの状況(15年度)**



今後の事業方針・取組み内容	今後もより多くの方に利用していただけるよう、県民ニーズを的確に捉えた事業を企画実施していく。
	平成16年度には、参加申込みの多い減量月間事業について、県民健康センターとの連携を更に強化し内容の充実を図るとともに、募集人員を15年度の3倍に拡充した。
	平成16年度より県民長寿祭を健康の森で実施するなど健康の森内での各種イベント実施を推進し、健康の森の認知度およびイメージの向上を図っている。